

神戸大学附属幼稚園 資質・能力の定義（令和7年1月現在）

資質・能力の 大きなまとまり	【資質・能力のまとまり】 定義	資質・能力	資質・能力の定義
人格形成の基礎 となる資質・能力	【自分の生き方】 様々な関わり合いの中 で、自分を見つめ、し たいことやすべきこと を自分で決め、よりよ い生き方を目指そうと する	自ら決める・選ぶ	興味・関心をもったり、目的や目標を定めたりして、その実現に向けて見通しをもち、やり遂げようとする
		自分に満足する	自分の成長を自覚し、自らの価値に気付く
		気持ちをコントロールする	よりよい方向に向けて、自分の気持ちに折り合いをつけようとする
		自分のことを知る	自分に関心を寄せ、自分の思いや状態、性格などに気付いたり、それを認めようとしたりする
	【人とのつながり】 人と関わることを通し て、他者の思いや考え に気づき、よりよい関 係をつくろうとする	他者という喜びを感じる	他者と関わる心地よさや嬉しさ、よさを感じてつながりを大切にしようとする
		他者のことを知る	他者に関心をもち、思いや考え、個性を認めようとする
		自分のことを伝える	相手に分かるように、自分の思いや考えを行動や言葉で伝えようとする
		他者のことを考えて行動する	他者に寄り添い、相手にとってよいと思うことをしようとする
	人と物事を進める	人と共通の目的や目標に向かって、自分にできることをしようとしたり、見通しをもって必要なことを決めたり、互いの役割を意識しながら責任を果たそうとしたりする	
知性につながる 資質・能力	体の健康を保つ	健康の保持・増進に関心をもち、必要なことを考え、自分ができることをしようとする	
	身を守る	自分の状態や周囲の状況に気づき、安全について考え行動しようとする	
	身体を操作する	運動の特性に応じた身体の使い方をしようとする	
	自然環境を見つめる	空や雲、土、天体など、自然環境の美しさや不思議さに触れる中で、自然に対する理解を深める	
	生き物・命を見つめる	生き物の美しさや不思議さに触れる中で、生命に対する理解を深める	
	事物・現象を捉える	科学的に分析・思考しながら、性質や特徴を見出したり、ものやこと同士の関係性を捉えたりする	
	語彙・語句を活用する	語彙・語句を豊富に獲得し、活用しようとする	
	文章の構成を整える	文章の構成を考えて、整えようとする	
	数・量を捉える	数・量を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする	
	形を捉える	図形を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする	
	空間を捉える	場を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする	
	場や状況を整える	快適で心地よい生活空間を知り、整えようとする	
	食を見つめる	食べることの楽しさを感じたり、様々な食文化について知り、取り入れようとしたりする	
	財を活用する	売買の仕組みやサービスについて知り、お金を適切に扱おうとする	
	資源の活用を見つめる	限りあるものの適切な使い方や使う量を考え、大切に扱おうとする	
	施設や働く人とつながりをもつ	施設や働く人の役割を知り、自分の関わり方を考える	
	多様な文化を尊重する	自国の文化や他国の文化のよさや互いの文化の違いを知り、認めようとする	
	造形に表す	色や形、素材の生かされ方のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする	
	音楽に表す	音の響き、リズム、テンポやメロディーのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする	
	文芸に表す	話の展開や内容、話や役などの設定、言葉のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする	
身体の動きに表す	動作や表情、声の調子などのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする		
演出に表す	配役や場の取り方、プログラムの順序などのよさを感じたり、表現方法を考えたり、それらを使って表現しようとしたりする		

「人格形成の基礎となる資質・能力」や「知性につながる資質・能力」と同時に発揮、伸長される資質・能力

思考力	【論理的思考力】 物事を整理し、順序よく 考える力	比較する	対象と視点を明確にしなが、差異点や共通点を見付け出す
		関連付ける	対象と視点を明確にしなが、その間にあるつながりを見付け出す
		総合する	比較したり関連付けたりしたことを基に、考えをまとめる
		再構成する(※)	自分の知識や考えを、より妥当性の高いものに更新する
		推論する(※)	比較・関連付けして得られた明確な根拠を基に、何らかの考えに至る
		論点を抽出する(※)	話の中心になるところを探り、目的に応じて絞り込み、確定する
		批判的に考える(※)	思考・判断に必要な情報の確かさを疑う
	【問題解決力】 問題を見出し、解決方法を 導き出し、実行する力	問題を認識する	ある目的を達成するための問いを生む
		豊かに発想し、追求の手立てを 構想する	ある目的を達成するための方法を直感的・論理的に考え、最適な考えを選ぶ
		実行し、その結果を基に判断する	実行を基に、目的が達成されたかどうかその過程が適切であったかどうかを評価する

(※)現時点で神戸大学附属幼稚園の指導計画において、ねらいの言葉に表れてはいないが、表出された子どもの姿から見取ったり、子どもの姿に応じて教師の意図に含み込んで支えたりする資質・能力として存在しているもの。